

中野読書会文学講座

三浦綾子

「あのポプラの上が空」

どの家にも、人に知られては困る恥部がある。暗部がある。が、一見さりげなく無事をよそおって人々は生きる……北の都札幌の病院長一家をひそかにむしばんでいたものは麻薬であった。覚醒剤であった。家族の葛藤と愛。青春の反抗と夢。切実なテーマに生きることの意味をさぐり、人間の絆を問う力作長編。(講談社文庫版 裏表紙から引用)

三浦綾子の現代小説最後の作品で、『われ弱ければ』や『銃口』ともつながっているととても重要な作品です。

(森下辰衛氏談)

日時 2023年6月17日(土) 14:00~16:00
講師 森下辰衛氏(三浦綾子読書会代表・三浦綾子記念文学館特別研究員)

参加費 1,000円

会場 1. 新中野キリスト教会
〒164-0012 東京都中野区本町6丁目37-7
2. Zoom併用

申込 メールにて。会場とZoomのどちらを希望するかを記載して下さい。

土屋 formlad@ninus.ocn.ne.jp

松下 gospelpine@yahoo.co.jp

QRコード(左が土屋、右が松下です)

